

## 福岡県職員になって

八女支部 八女県土整備事務所 島田 篤志

入庁して約一年半が過ぎ、様々なことを体験してきました。この一年半で体験したこと、学んだことを書いていきます。

### ○職場の印象

私が配属されたのは八女県土整備事務所道路建設課県道建設係でした。私は出身が行橋ということもあり、県南の方にはほとんど足を運んだことがなく、不安な気持ちでいっぱいでした。さらに、県南は方言が分かりづらく、初めは福岡県ではなく他県にいるような孤独感がありました。また、昨年度の県道建設係は、八女香春線の合瀬耳納トンネルの開通や柳川筑後線のアンダーパスの開通に向けてかなり忙しい部署でした。そんな忙しい中でも、先輩方は私に気さくに話しかけてくれたり、仕事のやり方を丁寧に教えてくれたり、分からないことがあれば優しく教えてくれたりしてくれました。こういったことにより、不安な気持ちはすぐに消え、働きやすい楽しい職場だと感じる事が出来ました。先輩方には感謝してもしきれません。

### ○入庁して学んだこと

私が入庁して学んだことは、自分で考え、その考えを自分の言葉で表現することの大切さです。工事の担当をするようになり、様々な問題に対応するようになりました。その際に、知識もなく経験もなかった私は、「考えても分からないな」とすぐに先輩に助けを求めてばかりでした。いつまでも先輩に頼ってばかりではだめだ、と自分でも分かってはいましたが、知識や経験の不足が自分の自信をなくし、いつの間にか消極的になっていました。そんなある日のこと、事務所内の先輩方から、「失敗してもいい、間違ってもいいから自分の考えを持つことが大事だ。そしてそう考えた根拠を自分の言葉できちんと説明できれば、間違っていたとしても勉強になり必ず自分のためになる。」といったアドバイスを頂きました。この言葉が私を変えてくれました。「失敗してもいいから挑戦していこう」という前向きな気持ちを忘れずに、これから積極的に取り組んでいこうと思います。

### ○初めて担当した改良工事

この一年半で、様々な工事の担当をしてきましたが、私が担当した工事について紹介したいと思います。私が初めて担当した工事は、県道玉名八女線道路拡幅工事(1工区)です。県道玉名八女線は、熊本県玉名市繁根木(起点)から終点八女市本村(終点)まで続

く路線です。工事箇所は近隣に高等学校があり、通学路として利用されていますが、歩道がなく、カーブ区間は見通しが悪く非常に危険な区間でした（写真-①）。現在では、今回の工事を含めた道路改良事業により、見通しがよく快適な道路となりました（写真-②）。初めての道路改良工事の担当ということで、大変なことや苦勞したことがたくさんありました。特に苦勞をしたのは、片側規制を行った際の施工方法や安全対策です。本箇所は交通量も多く、長い区間の規制が出来なかったため、50m程度の規制を数回に分けて施工を行いました。規制を切替えるタイミングや切替えた際の安全対策等に何度も悩まされましたが、請負業者との協議を重ねた結果、安全でスムーズな通行、施工を行うことが出来ました。苦勞して完成した分、私にとって忘れられない現場となりました。



写真-① 着工前



写真-② 完成後

#### ○今後の目標

私は入庁して約一年半が経ちますが、やっと半人前になれたのかなと思います。仕事に一生懸命励んでいるつもりですが、まだ一人前になっていないため、周りに迷惑をかけてしまうことが多々あります。昨今、働き方改革への取り組みが行われており、限られた時間の中で勉強し、経験し、効率よく仕事をしていくことが一人前になる近道だと私は考えます。限られた時間をどう生かしていくのか自分で考え、早く一人前になることを目標として、これから頑張っていこうと思います。